

# KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fans of the Kanto living

Free!!

#10 新生和田ヴィッセル関東上陸号～ 2011.5.28 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリームソングで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。

## 新たなる歴史へ。トモニイコウ。



キャンプから取り組んできた「カウンターだけでなく攻撃に緩急を付けられる」新生ヴィッセルのサッカーは川崎戦・清水戦の連勝という形で結果に結びついてきている。そんな中で迎える広島、柏、仙台、横浜というリーグ上位との連戦。勝てばどこまで順位が上がるのか？「上位争い」というクラブやサポーターにとっても未体験ゾーンへの突入にサポーターの胸は高鳴り心も躍る。

確かに楽観できる状況では決してない。イジメの不幸事やポティの一時帰国にはサポーターだけでなく選手にも動揺はあるだろう。

J2優勝から続く柏レイソルの快進撃は留まる所を知らず、アウェイで乗り込む「日立台」では熱狂的な相手サポーターからのプレッシャーも相当なものだろう。横浜Fマリノスに喫した「三ツ沢」での惨敗の記憶も簡単に消せるものではない。

それでもなお、首位チーム相手に主導権を狙って一歩も引かない采配を選択するであろう和田監督がヴィッセルの新たな歴史を刻む事を、(変則日程のお陰ではあるが)「ナビスコ杯決勝トーナメント」という晴れ舞台に立つ選手達が次なるステージに導いてくれる事を期待せずにはられない。

### THINK BACK

#### 柏戦

### THINK BACK 2006

恋に落ちたあの日

ヴィッセルとは、年に一度くらい生観戦する程度のそっけない関係だった。2006年4月15日、柏サッカー場に独りで観戦に行くまでは。もし、メインバックスタンドで観戦していれば、別の人生を歩んでいたかもしれない。しかし、ゴール裏へ足を運んでしまった。ゴール裏での初観戦では、まず、スタンドとピッチの距離の近さに驚愕し、そして、なによりもヴィッセルのアンセムというべき「神戸賛歌」にノックアウトされてしまったのであった。例えるなら、長い間、友人関係だった男女が、ひょんなきっかけで一夜にして、恋愛関係になるが如くである。その後もヴィッセルとの熱愛関係は続き、今や酔狂にもフリーペーパーに駄文を寄せるまでになっている。今後ヴィッセルへの純愛をアルコールに惑わされることなく貫き、アウェイでの勝利を後押しする所存であります。

### THINK BACK 2007

#### 嵐の中の勝利

試合開始前、かなりの雨だったが台風は存在しなかった。日立台のゴール裏にはもちろん雨をしのげる場所などない。ピッチは水たまりばかりでボールはちっとも転がらない。両チームとも、ロングパス&水たまりで止まったボールへのラッシュという戦術。フランスの精度の高いロングパスが効果的で柏が前半に先制した。後半に入ると神戸が盛り返す、ガブリエルと近藤祐介のゴールで1-2の逆転勝利。試合後インタビューの祐介のコメントには笑った。「水遊びみたいで楽しかった」と。

### THINK BACK 2009

#### 和田監督初勝利!

カイオ監督の辞任により和田監督代行が指揮を執った4戦で2分2敗と勝ち星に恵まれず降格圏ギリギリの神戸と降格圏内にいる柏との直接対決。一進一退の攻防を繰り返しながら、64分に田中英のCKを河本が神戸サポーターの目の前で豪快に頭で押し込み先制。その後柏の猛攻を受けるも最後まで集中して守りきった神戸が和田監督代行に初勝利をプレゼント。残留に向けて1歩前進した。ちなみに2009年は関東アウェイで勝利に恵まれず、この試合が唯一の勝ち試合だった。そして翌日(だったかな?)、和田監督代行に変わる新たな監督としてあの男が迎え入れられるのであった。

### THINK BACK 2009 番外編

君はマルセウの重戦車ドリブルを見たか! 待たされた大型FWのマルセウ。しかし、コンディション不良で力を発揮できなかった。平日のナビスコ杯、テレビ中継はなく、神戸サポーターは数えるほどだった。試合は0-3の惨敗。しかし、その少数のサポーターだけが見ることのできた貴重なプレーがあった。DF3人を引きずりながら相手ゴール前まで突進したマルセウの重戦車ドリブルだ。シュートは決まらなかったものの、圧倒的なパワーと実力の片鱗を見た。結果的には片鱗だけで終わったのだが...

### 2011年度日程

節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1	浦和レッズ	3月 6日(日) 13:00	H ホームズ	○ 1-0	18	大宮アルディージャ	6月 26日(日) 19:00	A NACK5	○ -
7	ヴァンフォーレ甲府	4月 23日(土) 16:00	A 中銀スタ	△ 1-1	2(休)	ジュビロ磐田	7月 3日(日) 18:00	H ヤマハ	○ -
8	大宮アルディージャ	4月 29日(金) 14:00	H ホームズ	● 0-1	3(休)	名古屋グランパス	7月 9日(土) 19:00	A ホームズ	○ -
9	アルビレックス新潟	5月 3日(火) 14:00	A 東北電	● 0-1	4(休)	ガンバ大阪	7月 13日(水) 19:00	H 万博	○ -
10	川崎フロンターレ	5月 7日(土) 14:00	H ホームズ	○ 1-0	5(休)	セレッソ大阪	7月 16日(土) 19:00	H ホームズ	○ -
11	清水エスパルス	5月 14日(土) 14:00	A アウスタ	○ 5-1	6(休)	横浜F・マリノス	7月 23日(土) 19:00	A 日産スタ	○ -
12	サンフレッチェ広島	5月 21日(土) 19:00	H ホームズ	○ 1-0	N1-2	横浜F・マリノス	7月 27日(水) 19:00	H ホームズ	○ -
13	柏レイソル	5月 28日(土) 14:00	A 日立柏	○ -	19	ヴァンフォーレ甲府	7月 30日(土) 19:00	H ホームズ	○ -
N1-1	横浜F・マリノス	6月 5日(日) 15:00	A ニッパ球	○ -	20	浦和レッズ	8月 6日(土) 19:00	A 埼玉スタ	○ -
14	ベガルタ仙台	6月 11日(土) 17:00	H ホームズ	○ -	21	横浜F・マリノス	8月 13日(土) 19:00	H ホームズ	○ -
15	アビスパ福岡	6月 15日(水) 19:00	H ホームズ	○ -	22	アルビレックス新潟	8月 20日(土) 19:00	H ホームズ	○ -
16	モンテディオ山形	6月 18日(土) 19:00	A NDスタ	○ -	23	アビスパ福岡	8月 24日(水) 19:00	A レベスタ	○ -
17	鹿島アントラーズ	6月 22日(水) 19:00	H ホームズ	○ -	24	ガンバ大阪	8月 28日(日) 18:00	H ホームズ	○ -

※印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!



# THINK BACK

横浜戦

## THINK BACK 2009

あの日の屈辱

バクスター監督最後の試合(対横浜FC)を1-0で勝利した三ツ沢にはとてもいいイメージだった。2009年4月のあの日までは。4月のさわやかな快晴、スタンドがピッチにとっても近いスタジアム。相手はここまで未勝利の横浜FM。

ゴール裏は多くの神戸サポで埋まり、この試合に対するサポーターの期待はとても大きかった。

しかし、開始2分、宮本恒靖がルーキーFW渡辺千真になすすべなくちぎられ、先制点を奪われる。その後も失点を重ね前半を終わって3-0。後半に入ってもシュートを打たない攻撃、闘志の感じられない守備が続き終わってみれば5-0の屈辱的な敗戦に終わった。

## THINK BACK 2010

不可解なレッド

ワールドカップのあと、大会の疲れか、燃え尽きたのかJリーグでは調子が上がらず大久保嘉人は怪我で離脱してしまった。迎えた10月のFマリノス戦が大久保の復帰試合となった。低迷するチームを救う救世主となるはずだったのだが…  
まったく不条理で不可解なレッドカードを受け退場してしまった。それ以来の横浜Fマリノス戦に我らが嘉人、期するものがあるはず。

## 2011 いぶきレポート

神戸在住 KOBE AWAY PRESS 部員による  
とっておきいぶきレポート!

ヴィッセルユースから大学経由で今季、念願のヴィッセル・トップチームへの帰還を果たした左サイドバックの林佳祐。

ディフェンスの選手としてはかなり低い165センチという身長のため、いぶきの練習試合で初顔合わせになる相手からも当然のように林のサイドが狙われる。だが180センチ級の相手FWとの明らかなミスマッチがあろうとも、林は必死で相手にまわりつき、ボールを奪えないまでも相手FWに自由な展開を許さない。

またサイドからの突破を図るドリブラーには細かいステップで絶妙な間合いをキープしながらラストパスを阻止する。ここ数年、ヴィッセルが求めている「本職の左サイドバック」の登場と言えるだろう。

試合中はGK嘉味田からの細かいポジショニングや味方へのフォローの指示にも忠実に応え、90分間休む事なく走り続けるプレースタイルには賛辞の意味を込めて「忠犬」の愛称を贈りたい。

そして忠犬にはゲームで一番輝く瞬間がある。MFホジェリーニョから相手DFの裏を狙った山なりのパスに反応する林。小さい歩幅を回転数で補いながら、肩まである髪をなびかせてテケテケテケ〜と猛ダッシュでサイドを駆け上がる姿はまさに「ほーら拾って来い!」と飼い主が投げたボールに喜んでダッシュするワンちゃんそのものなのだ。

ただ、第9節終了時点で公式戦の出場機会が無い林の課題は攻撃力。

左利きの左サイドバックを配置する最大の目的は精度の高いクロスだ。

現時点ではクロスの精度、スピード、タイミング、バリエーションもまだまだ改善の余地がある。

不動のレギュラー茂木がクロスサーではないので、ここを磨けばヴィッセルにとっても大きな武器になるだろう。



## ✓ トップチーム

1 GK 紀氏 隆秀	28 GK 嘉味田 隼	30 GK 徳重 健太	2 DF 近藤 岳登	4 DF 北本 久仁衛
5 DF 河本 裕之	6 DF 羽田 憲司	14 DF 宮本 恒靖	15 DF 大屋 翼	25 DF 石櫃 洋祐
29 DF 林 佳祐	32 DF 柳川 雅樹	7 MF 朴 康造	8 MF 松岡 亮輔	9 MF ホジェリーニョ
10 MF ボッティ	11 MF ポポ	16 MF 楠瀬 章仁	17 MF 吉田 孝行	18 MF 田中 英雄
20 MF 森岡 亮太	22 MF 馬場 賢治	24 MF 三原 雅俊	33 MF 廣田 隆治	13 FW 大久保 嘉人
19 FW 有田 光希	21 FW 茂木 弘人	26 FW 三島 康平	27 FW 都倉 賢	31 FW 小川 慶治朗

## ✓ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



**KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード**  
<http://kobeap.net/>  
 発行: KOBE AWAY PRESS (仮) 編集部



## 編集後記

ヴィッセルを見に行くようになってからAPを立ち上げた仲間と一緒に遠征に行ったのがアウスタが初めてでした。あれから二年、三度目のアウスタで初めてのゴール/嬉しかったのは言うまでもありません。しかも大量得点。なんだかなれない言葉上位対決。この調子をシーズン通して保ってほしいと思っています。やっぱり勝つと単純に嬉しいし調子がいいと試合を一試合でも多くみたいと思います。また、試合に友達を誘いやすくもなる…いいことづくめです。大久保選手も言うようにまだまだシーズンは長いのです。選手もサポーターも気を引き締めてトモニコウ

よしこ

このKOBE AWAY PRESS (仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね! Keep clean